

29 畜産・酪農の収益性向上

【7, 591 (69) 百万円】
(平成26年度補正予算 21, 044 百万円)

対策のポイント

生産基盤の維持・拡大のため、高収益畜産への転換、生産性向上、畜産環境問題への対策を進めることにより、畜産・酪農の収益性向上を図ります。

<背景/課題>

- ・畜産業においては、配合飼料価格が上昇傾向にある中、高齢化や離農が進み農家戸数や飼養頭数が減少するなど、生産基盤の弱体化が懸念されています。また、混住化の進展により悪臭問題が顕在化し、畜産経営の存続のためにも畜産環境問題の解決が課題となっています。
- ・我が国畜産の競争力強化のため、畜産農家をはじめとして、地域に存在する各種支援組織（コントラクター、TMRセンター、キャトルステーション等）や関連産業等の関係者（乳業、食肉センター等）が有機的に連携・結集し、地域ぐるみで収益性を向上させる取組、国産畜産物の需要創出による新たな市場獲得に向けた取組等を進めることが重要となっています。

政策目標

- 経営の効率化や収益性の向上による生産基盤の強化
- 畜産経営の苦情発生件数の減少

<主な内容>

1. 高収益型畜産体制（畜産クラスター）構築事業 76 (69) 百万円
(平成26年度補正予算 200 百万円)

地域ぐるみで収益性を向上させる畜産クラスターの推進のための新たな取組の実証や、全国的な普及活動等を支援します。

（補助率：定額）
事業実施主体：民間団体

2. 畜産収益力強化対策[新規] 7, 515 (一) 百万円
(平成26年度補正予算 20, 115 百万円)

畜産クラスター計画に位置づけられた地域の中心的な経営体（畜産農家、新規参入者、飼料生産受託組織）の収益性の向上、畜産環境問題への対応に必要な機械のリース整備、施設整備等を支援します。

（補助率：1/2以内）
事業実施主体：民間団体

3. 国産畜産物の新たな市場獲得のための技術開発促進事業
(平成26年度補正予算 728 百万円)

国産畜産物の新商品（生ハム、ソーセージ、チーズ等）の開発を可能とする製造加工技術の開発等の取組を支援します。

（補助率：定額、1/2以内）
事業実施主体：民間団体

お問い合わせ先：

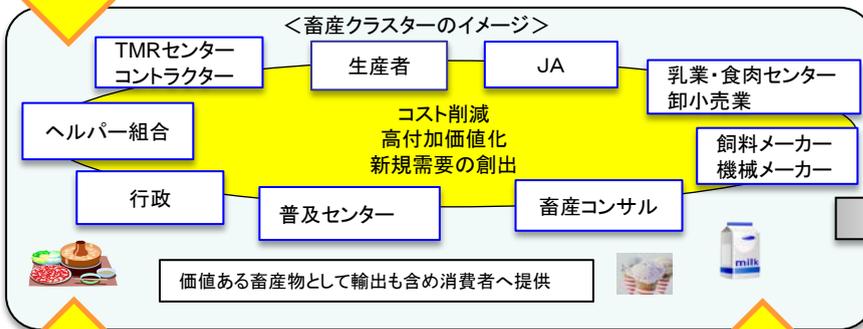
- | | | |
|-----------|-----------|----------------|
| 1、2の事業 | 生産局畜産企画課 | (03-3502-5979) |
| 3の事業のうち | | |
| 牛乳乳製品について | 生産局牛乳乳製品課 | (03-3502-5987) |
| 食肉鶏卵等について | 生産局食肉鶏卵課 | (03-3502-5989) |

畜産・酪農の収益性向上

高収益型畜産体制構築事業

➤ 検討会の開催、
新たな取組に関する調査・実証への支援

実証成果を
全国的に普及



地域の関係者が連携・結集した取組により、
①生産コストの低減、高付加価値化
②地域内の畜産の中心的な経営体への再編・合理化
を通じて、地域の畜産の収益性を向上し、生産基盤を強化します。

畜産収益力強化対策

畜産収益力強化支援事業

➤ 中心的な経営体の収益性の向上等に必要な機械のリース整備を支援（1/2以内補助）

地域の収益性向上のための畜産クラスター計画に位置づけた中心的な経営体

- ・畜産農家
- ・新規参入者
- ・飼料生産受託組織



搾乳ロボット



バルククーラー



汎用型(稲WCS、トモロシ等に活用)飼料収穫機

畜産競争力強化整備事業

➤ 中心的な経営体の収益性の向上等に必要な施設の整備を支援（1/2以内補助）



ミルクングパーラー



飼料調製施設



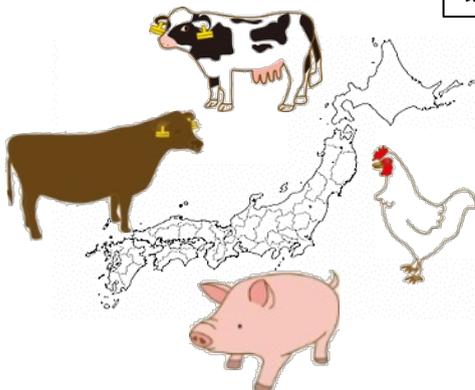
畜産環境対策施設

(※公社等が整備し、中心的な経営体に貸し付ける場合も含む)

国産畜産物の新たな市場獲得のための技術開発促進事業

➤ 国産畜産物の新商品開発を可能とする製造加工技術の開発等の取組を支援

新商品開発に必要な技術開発等



国産畜産物を活用



ソーセージ



生ハム



チーズ 等

新たな市場獲得